

平成24年度事業報告

1. 概要

我が国の人口構造の高齢化は極めて急速に進んでおり、経済社会の重層的な転換とあいまって国民生活に広範な影響を及ぼしているところです。また、これからは戦後生まれの人口規模の大きな世代が高齢期を迎え、我が国は本格的な高齢社会に移行することになります。

このような中、多くのシルバー人材センターでは、会員数が増加する一方、仕事の受注は減少傾向にある中で就業の適正化を求められ、雇用紛いとみなされる業務については派遣事業への切り替えや契約打切りを余儀なくされることにより、事業実績が低下しているといわれております。

当センターにおいても、法律の遵守という観点から適正就業を進めたことにより、平成24年度の事業実績は前年度対比 9,667千円減となる 171,610千円となりました。ただし、公共の仕事については前年度対比 1,200千円増となる 43,200千円となっております。これも偏に小郡市、大刀洗町をはじめ、関係行政機関のご支援、ご協力によるものと感謝を申し上げます。また、就業率（就業会員数/総会員数）については、適正就業推進委員会で未就業会員対策を進めたことなどにより、前年度対比4.1ポイント増となる98.2%となりました。

就業会員のサービスの質の向上も重要な課題であることから、全会員を対象に接遇研修を実施し、さらに就業の適正化・公平化を進めるために就業期間満了者の会員は他の職種へと替わっていただきました。長年就業してこられた方にとって少なからず影響のある取り組みでしたが、会員各位のご理解、ご協力を得て、円滑に実施することができました。

平成24年度のセンター事業は、公益社団法人に移行して2年目になることから、法令の遵守と健全な財政運営を念頭に事業を行ってきました。これからも公益社団法人として、市町民の信頼を得ながら、センターの基本理念を十分認識し、公益性・公共性を十分自覚して運営をしてまいります。

2. 事業実績結果

(1) 受託事業

就業機会の拡大と会員増強がセンターの重要課題という認識から、市町の広報誌、回覧板を活用した広報活動や業務推進委員会を中心とした新規事業の立ち上げなどに取り組みました。特に団塊の世代の入会により、希望者の増加が見込まれる管理群の就業拡大のため小郡市、大刀洗町への仕事依頼のほか、インターネットを活用した事務系職群の開拓に取り組みました。また、会員の希望、能力に応じて公平に就業機会を提供するために、適正就業基準の推進やローテーション就業などを進めました。

就業実績

項目	平成 24 年度	平成 23 年度	増減
年度末会員数	380 名	391 名	11 名
就業実人員	373 名	368 名	5 名
就業率	98.2%	94.1%	4.1%
契約金額	171,609,726 円	181,276,786 円	9,667,060 円

(2) 企画提案事業

平成 24 年度は、新規の企画提案事業として、ながいきサポート事業、あんしん子育て応援事業の 2 事業が国から採択され実施することが出来ました。

ながいきサポート事業では、小郡市からの委託事業である「ふれあい安心コール事業」とワンコインで高齢者の困りごとを引き受ける「かせしますたい」事業を実施しました。

ふれあい安心コール事業は、電話による安否確認が主な作業となるため傾聴や守秘義務などの研修会を実施しました。また、市の担当課、地域包括支援センター等と連携を取りながら高齢者の孤独感解消に繋げていくことが出来ました。かせしますたい事業では、高齢者との対応の仕方や認知症などの知識を習得するための会員研修を行い技能向上に努めました。1 月にはワンコインサービス事業の先進地である八代市シルバー人材センターに視察に行き、今後の事業展開につながる話を聞くことが出来ました。

あんしん子育て応援事業では、小郡市より委託を受けた「養育支援訪問事業」と「出張託児ルーム」を実施しました。養育支援訪問事業は、傾聴が重視されることから、看護師を長年経験した会員を中心に人権学習や守秘義務、傾聴などの訪問研修を実施しました。また、様々な子育て支援に取り組んでいる豊後高田市の N P O 法人アンジュ・ママンへの研修に行き交流を深めました。出張託児ルームは、三国校区公民館「ふれあい館三国」で、PR のための無料体験を事前に行い 6 月から週 1 回実施しました。毎回の準備が大変ですが、賑やかな子供たちに接し若い母親の支えになることに生きがいを感じる就業になっています。

事業目標達成状況

	就業延人員 (人日)			就業実人員 (人)			契約金額 (千円)		
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
ながいき	250	417	166%	15	35	233%	600	628	104%
あんしん	180	229	127%	20	39	195%	300	345	115%

(3) 施設管理業務

小郡市高齢者社会活動支援センターの指定管理者の業務も 7 年目に入り、条例に定めである目的を達成するために、高齢者が若い母親の育児支援を行うための事業（託児ルームでの一時預かり）、高齢者が IT 社会への適応行動を行うための事業（パソコン教室の開催）、子供と高齢者の交流事業（夏休み工作教室など）を実施しました。

今後もシルバー人材センターの活動拠点としてはもとより、地域の高齢者が気軽に集える場所として、指定管理者の責務を果たしてまいります。

会館利用者数 (単位：名)

	多目的ホール	洋室	和室	会議室	合計
平成 24 年度	3,191	938	97	3,656	7,882
平成 23 年度	2,825	1,574	196	3,554	8,149

(4) 独自事業

就業の機会を広げるため会員の創意工夫により実施している独自事業をさらに周知するために、市の回覧板を利用するなどして積極的にPRを行いました。また、焼き芋販売では、今年度からフライドポテトを販売したことにより前年度より572千円実績が上がりました。しかし、しめ縄販売では、就業会員不足により前年度の実績を下回る結果となりました。その他の職群においても同じように後継者となる会員を育てていくことが今後の課題となっています。

また、業務推進委員会では会員の方から頂いた様々なアイデアを検討し、一つでも多くの新規事業を立ち上げられるよう会議を重ねてまいりました。

契約金額実績 (単位：円)

職種	平成 24 年度	平成 23 年度	増減
刃物研ぎ	1,625,075	1,595,900	29,715
エアコン清掃	1,457,000	1,322,000	135,000
パソコン教室	391,400	602,000	210,600
焼き芋販売	3,830,171	3,258,296	571,875
しめ縄販売	115,000	269,450	154,450
おさらい教室	73,200	152,200	79,000

(5) 普及啓発事業

シルバー事業の意義を社会に広く周知するとともに、高齢者の加入を促進するため、次の事項重点に効果的な普及啓発活動を推進しました。

ア 普及啓発月間(10月)の取り組み

- ・役職員、会員による西鉄駅前周辺、スーパーマーケット前でのチラシ配布
- ・小郡市長、大刀洗町長への表敬訪問
- ・西鉄小郡駅前、大刀洗運動公園、県道朝倉鳥栖線のボランティア清掃作業
- ・総合保健福祉センター「あすてらす」にてPR用DVDの放映
- ・会員募集のチラシを全会員に配付して口コミによる会員募集

イ 広報活動

- ・会報「あすなろ」第40号、第41号を発行して全世帯に配付
- ・小郡市、大刀洗町の回覧板を活用したPR
- ・公共施設へのポスター掲示
- ・ホームページによる会員募集、仕事の開拓

ウ 地域交流活動

- ・地域の小学生を対象にした夏休み工作教室の開催

- ・小郡市民文化祭、大刀洗ドリーム祭りへの参加
- エ 社会参加活動
- ・宝満川一斉清掃、花火大会会場清掃、ひばりロードレースコース清掃

(6) 安全就業推進事業

ア 全体の状況

重篤事故の発生から組織一丸となり安全推進に力をそそいで参りましたが、丸4年が経ち当時の会員の半数近くが入れ替わっている現状からも、繰り返しの安全啓発が必要だと痛感しております。職群班会議、地区会議等でも安全に関する事項にはウエイトをおいており、平成24年度は、特に県シ連合会より出された「非常事態宣言」の周知に努めました。また、入会後の新入会員研修では、「センターで就業をする場合、センターの安全就業基準を遵守することが大前提」であることを強く訴え、平易な作業でも個人が家庭でする場合とは全く違うことを認識するようお願いしております。

会員の健康に関しては、個人情報でもありセンターがどこまで関与するか難しいところですが、日々の健康管理と健康診断受診の呼びかけをしてまいりました。具体的には「健康診断受診確認書」の提出、市町保健師による呼びかけ、就業年齢制限のにおける聞き取り等を実施しました。ともすればマンネリ化し、おざなりになってしまう安全啓発ですが、今後もあらゆる機会を通じて行ってまいります。

イ 事故

平成21年度以降、大きく減った事故件数がここに来て倍増する結果となりました。最近の事故の特徴として、比較的危険度が高いと考えられている植木剪定や刈払などの職群での作業中の事故は少なくなり、その他の分野で広く発生しています。日常動作のちょっとしたことで転倒をしたり、障害物にぶつかって負傷をするといった事故が増えており、加齢に伴う身体機能の低下を認識せずに不用意な行動をとることが原因にあります。また、交通事故が多く発生し、そのほとんどが交差点内における事故となっております。

事故発生件数の推移

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
傷害	9	10	1	1	2	4
賠償	9	4	1	1	1	1
交通賠償	2	3	5	2	1	5
うち重篤	1	1	0	0	0	0
全件数	20	17	7	4	4	10

ウ 安全就業委員会

安全就業委員会では、6回の委員会を開催しました。事故発生時は当事者の会員に安全委員会出席と、事故状況を自身で説明することをお願いしております。また、今後の再発防止策を職域、職群内で検討してもらい、その内容を安全就業委員会で検討するという流れで、「まず作業をする会員自らが自分達の安全ルールを主体的に考え

安全意識を向上させる」こととしています。

(7) 相談事業

就業を希望する高齢者に対し、就業の機会を確保して適切に仕事を提供するためには、様々な技術を持った就業会員の確保が重要であることから、積極的に会員増強活動に取り組みました。

ア 入会説明会の開催

高齢者が入会しやすいように毎月中旬に小郡本所、大刀洗出張所で、センターに興味のある方を対象に入会希望者説明会を開催しました。その後、入会を申し込まれる方には、毎月下旬に開催している入会申込者説明会において入会を勧奨しました。

入会希望者説明会実績

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
参加者	21	7	15	7	7	11	0	7	1	3	29	8	116

イ 就業相談の実施

平成24年10月に開催した「シルバーフェスタ2012」では、作業道具の展示や就業写真などを掲載したパネルによる職群班紹介コーナーを設けて、市町民に対して仕事の受注や作業内容の相談などに応じました。

(8) 研修・講習事業

就業に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、会員のスキルアップを図るため講習会及び研修会を実施しました。また、今日的な社会問題となっている、正しい認知症の知識を得るための講習会を開催し、多くの参加会員から好評を得ました。

講習会実施状況

講習会名	内容	参加人数
沐浴勉強会	赤ちゃん人形を使った体験講習	49
整理整頓勉強会	上手な整理整頓のポイント	8
子供の病気と怪我	子供のかかりやすい病気の特徴や看護	33
絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ方や選び方	29
高齢者福祉講習	知っておきたい認知症のこと	28
料理講習会	簡単でおいしおもてなし料理	33
掃除講習会	公園トイレの掃除の仕方	22
接遇講習会	愛されるセンターになるために	193
バイク安全運転	バイク使用に対する実技講習	16
自転車安全運転	自転車使用における講義・実技	40
自動車安全運転	自動車使用における講義・実技	20
チェーンソー操作	チェーンソーの安全な操作方法	32